

## “基本的考え方”

- ◆ 次期基本計画は、SDGsの達成を含めた **人類の幸福の最大化** と **安全・安心の確保** に資するべく、全ての国民に科学技術・イノベーションの果実を届ける「道しるべ」
- ◆ Society 5.0の具体像を共有し、スピード感と危機感を持ってこれを実装するため、国を挙げて新しい社会を牽引する科学技術・イノベーション政策を実現

## 現状認識

### 社会の質的・量的な変化

- ✓ デジタル技術の加速度的な発展・普及と科学技術・イノベーションを中核とする国家覇権争いの激化、新たな世界秩序の模索
- ✓ 経済社会活動を牽引する主体がIT企業に
- ✓ 人口構成や雇用環境の変化に伴う問題の顕在化と多様性の重視
- ✓ 地球環境問題などSDGsがグローバルアジェンダに

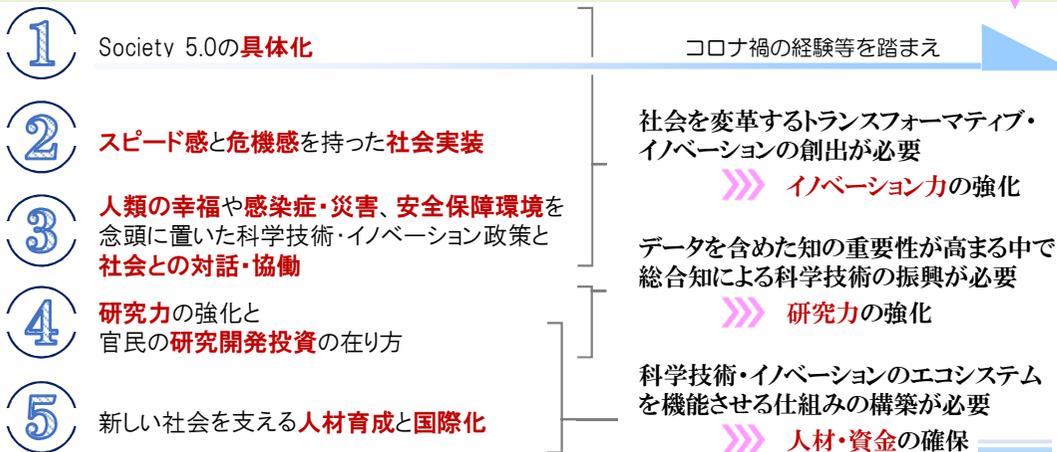
### 科学技術・イノベーション政策の振り返り

- ✓ Society 5.0の具体化の前提となるデジタル化について、スピード感と危機感の欠如による**実装の遅れ**
- ✓ 第5期基本計画における**目標の未達と研究力の低下**
- ✓ コロナ禍を受けた科学技術の重要性の**国民的高まり**

### 科学技術基本法の改正

- ✓ 「人文・社会科学」の振興と、人文・社会科学と自然科学を融合した「**総合知**」の重視
- ✓ 「イノベーション創出」の法目的への位置づけによる新たな価値創造と社会システム変革  
\*イノベーション創出の追加は、基礎研究力を軽視するものではない

## 次期基本計画の方向性



## Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

### Society 5.0を実現する社会変革を起こす**イノベーション力の強化**

- (1) **行動変容**や**新たな価値**を生み出す社会システム基盤の構築
  - (2) 社会変革を起こす土壌となる**イノベーション・エコシステム**の強化
  - (3) 非連続な変化にも対応できる**安全・安心**で**強靱**な社会システム基盤の構築
  - (4) 持続可能な社会の実現に向けた**戦略的な研究開発**の推進と**社会実装力**の向上
- ☆都市・地方を問わず個人のニーズに応じた多様な働き方・暮らし方を実現 ☆失敗を許容するセーフティネットを構築 ☆国民の生命と財産を守る ☆様々な社会的な問題を世界に先駆けて解決

### 知のフロンティアを開拓しイノベーションの源泉となる**研究力の強化**

- (1) **新たな研究システム**の構築(デジタル・トランスフォーメーション等)
  - (2) 知のフロンティアを開拓する**多様で卓越した研究**の推進
  - (3) 変革の原動力となる**大学の機能拡張**
  - (4) **ミッションオリエンテッド**な**戦略分野**の研究開発の推進
- ☆研究者が時間や距離の制約を超えて研究に没頭、市民など多様な主体が研究に参画 ☆若者が展望を持って研究者を目指す ☆大学が独自性と個性を発揮 ☆社会変革に先手を打つ

### 新たな社会システムに求められる**人材育成**と**資金循環**

- (1) 新たな社会で活躍する「**変化対応力**」や「**課題設定力**」を持つ人材の育成
  - (2) 知の創出と価値の創出への投資がなされる**資金循環環境**の構築
- ☆教育の個別最適化や複線型のキャリアパス等により全ての個人のポテンシャルを解放  
 ☆多様な財源による投資が次世代の研究開発に回り、大学等の基礎研究と相まって、イノベーションの創出を促進

## 2. 知のフロンティアを開拓しイノベーションの源泉となる研究力の強化

### (1) 新たな研究システムの構築（デジタル・トランスフォーメーション等）※P23-P25

#### (a) 現状認識

… **研究施設・設備のデジタル・トランスフォーメーション**という観点では、コロナ禍において、共用施設・設備の多くが古いシステムを活用していたため、外部ネットワークへの接続が困難である状況が改めて明らかになり、**学内での研究活動が困難な中、研究施設の遠隔利用についての多くの課題が顕在化**している。さらに、従前、競争的研究費等で措置する研究設備・機器について、原則的に共用とする取扱いを推進してきたものの、**依然として研究設備・機器の囲い込みと自前主義の文化**は残っており、改善が求められている。また、**研究施設について老朽化等による機能劣化**が、設備等の整備・運用の支障となっている。 …

#### (b) あるべき姿

… **研究システム全体のデジタル・トランスフォーメーション**においては、遠隔から研究設備を活用する遠隔での研究や、実験の自動化等を実現するスマートラボが広く普及し、**時間や距離の制約を超えて研究を遂行**できる。あわせて、これらの**研究インフラが、多数の研究者に効率的に活用**される。**若手の研究者を含め、全ての研究者に開かれた研究設備・機器等の活用を実現**することで、研究者が一層自由に最先端の研究に打ち込める環境が実現される。また、先端的な研究や新たな研究テーマにも対応できる研究施設が、計画的・重点的に整備される。 …

#### (c) 具体的な取組

- ① **研究全体のデジタル・トランスフォーメーションと加速するオープンサイエンスへの対応**
- ② **ポストコロナ時代の研究を支える世界最高水準の基盤整備と共用の促進**
- ③ **ポストコロナ時代に対応した新たな国際共同研究・国際頭脳循環の推進**